

耳公民館だより



第56号 令和6年4月



(雲谷頭首工付近の溪流)

1月は新年で「お祝い」ですが、4月は新年度で「始まり」の感じです。雲谷で見おろした耳川は、春の農作業の開始を促すような雪どけ水の勢いを感じました。この水がいくつもの水路に分かれて耳地区をうるおしていきます。農業用水だけではなく、飲料水、防火用水など私たちの暮らしに欠かすことのできない命の源といえます。いつもより寒さが続いたような3月を終え、いよいよ魚や鳥、虫、植物すべての生命が出番を迎えて動きを早めます。春がやってきました。

耳公民館サークル「すみれ会」が 新庄区の「さわやか会」と交流

町の健康福祉課の働きかけで始まった健康づくりのサークル「すみれ会」が、新庄区のサークルと文化会館で交流会を開催しました。「ちょいそこみはま」で訪れた新庄の人たちとニュースポーツのポッチャをプレーしたあと、ビンゴゲームや茶話会で楽しいひとときをすごしました。

まずは、サークルの基本メニュー
ラジオ体操からスタート



サークルどうしの交流って、
いい企画ですねえ。

ちょいそこバスを使ったり、ほかの
施設を活用したりと、アイデアが
生きてますね。

「耳地区の桜」写真展

今年の桜には、やきもきしました。

満開はいつ？本当に咲くのか？

ちまたの話題も「桜がおかしい」というのが多かったように思います。それでも、天気の良い日に、何日かかけて撮り集めました。

**桜の時期に見のがした方、
耳公民館でご覧ください！**



(龍源院の門前)

小学生写生画展

1学期が始まると、小学校へ「今年も写生大会はありますか？」と聞きます。学校行事を精選する流れもありますが中央小学校では今年も実施されます。私自身、子供たちの版画や写生画を見るのが楽しみです。5月中旬に展示を始める予定です。



昨年展示した
作品です



館長のつぶやき

三度

公民館講座やサークル活動はもちろんのこと、趣味や特技に熱中する様子を表して、よく「三度の飯より」と言います。「三食昼寝付き」という言葉もあって、朝昼晩と食事をするのが日本では一般的なスタイルのようですが、海外ではどうなんでしょう。

ちなみにインドでは夕方が間食で、夕食は午後九時から十時となり一日に四食。ポーランドでは午前十時過ぎにサンドイッチなどを食べ、午後三時ごろに帰宅して家族一緒に豪華な昼食、夕食は午後八時ごろ簡単なものですませ合計四食。タイは一日五食くらいですが一食あたりは少ないようです。時間が不規則な国もあって「三度三度」というのは万国共通ではないんですね。

「武士の時代は二食だった」という話もあります。確かに鎌倉武士は二食でしたが、一日に玄米五合を炊いたというのですから、三食分のカロリーは十分でしょうし、合戦のときはたくさん食べたようです。

人類という枠で考えるとサルやチンパンジーなど霊長類の中で人間だけが決まった時間に家族で（個食ではなく）食事をとることです。（現代人は乱れ気味かもしれませんが）やはりリズムに乗った暮らしが本来の姿なんでしょうね。

月に一回、公民館だよりを書きながら前月を振り返って次の企画を練るのが私のリズムです。時々ミックスナッツをかじったりして…。

おっと、これでは間食が増えて三度の飯になりませんね。